

「茨城大学サイエンステクノロジーフェスタ 2014」を開催しました。

平成 26 年 4 月 19 日(土)の午後に、「茨城大学サイエンステクノロジーフェスタ 2014」を開催しました。この企画は、小・中・高校生や一般市民の皆様が科学技術に親しんでいただくために開催している公開イベントです。平成 26 年度科学技術週間の参加事業でもありました。今回は、「太陽系外惑星系の誕生とその姿を探る」というタイトルの講演に続き、数学情報・物理・化学・生物・地学に関する実験体験 7 件に加えて、茨城県立水戸第二高等学校・科学部の体験講座「不思議な窓を作ろう」もありました。参加者数は、残念ながら昨年より少なかったものの、県内の高等学校などを中心に合計 55 名（小・中学生 6 名，高校生 37 名，一般 12 名）でした。参加された方は皆様一様に楽しんでおられたようですが、一方で、「会場が正門から奥まっけていて本当にやっているかどうかわかりにくい」といったご指摘もいただきました。また、小・中学生の参加を期待して、近隣の小中学校を対象にしたダイレクトメールを送るなどしていますが、参加者数が思ったより伸びていないということで、企画のあり方など、さらに改善を図っていきたく考えています。参加して下さった皆様、どうもありがとうございました。

理学部学術委員会一同

提供した企画のご紹介

1. 身近にサイエンス！講演 午後 1 時 30 分から午後 2 時 20 分まで

担当者：百瀬宗武，場所：第 9 講義室

テーマ：「太陽系外惑星の誕生とその姿を探る」



講演会場の様子

2. 体験イベント 午後2時から午後4時30分まで

【数学・情報数理】

担当者：市村文男，藤間昌一：「数で遊ぼう・考えよう」

【物理】

担当者：片桐秀明：「イロイロな光の色を見てみよう」

【化学】

担当者：山口央：「物質の発光のしくみ」

【生物科学】

1. 担当者：遠藤泰彦：「旅する種（たね）のタネ●●あかし」

2. 担当者：北出理：「シロアリの行動観察と共生原生生物の観察」

【地球環境科学】

1. 担当者：野澤恵：「地球儀を作って，地球や宇宙を感じてみよう」

2. 担当者：藤縄明彦・長谷川健：「台所で噴火体験（キッチン火山学）」

【特別出展：水戸二高チャレンジサイエンス】

担当者：茨城県立水戸第二高等学校・科学部：「『ふしぎな窓』を作ろう」



どんなイロの光が見えるかな？



暗号で名刺をつくろう（上）。水戸二高による不思議な窓の工作（下）。



今年もコーラが大噴火



シロアリ，見えますか？